

疾病対策課

V 疾病対策課の業務概要

健康危機管理事業（感染症部門）

県民の生活・健康を脅かす健康危機管理事業の発生予防及び拡大防止のために、地域の関係機関との連携を図り健康危機管理体制の整備と拡充に努めている。

平成 27 年度は、主催の千葉県と協働し、千葉県新型インフルエンザ等対策訓練として病院実働訓練を千葉県済生会習志野病院の協力を得て実施した。また、船橋中央病院、船橋市と合同で MERS 患者搬送訓練を行った。

地域健康危機管理推進会議を開催し、新型インフルエンザ等の地域感染期対策をテーマに、医師会、管内医療機関等と整備の推進等を検討した。

当センター職員、管内市保健部門や消防部門を対象に、新型インフルエンザやエボラ出血熱等感染症発生を想定した個人防護具の着脱訓練、N95 マスクのフィットテスト等の研修会を開催した。

疾病対策事業

1 結核予防事業

平成 27 年末現在の新登録患者数は、75 人で前年より 8 人増加しており、肺結核のうち喀痰塗抹陽性患者は 21 人であった。

罹患率は 15.9（人口 10 万対）、有病率は 9.9（人口 10 万対）であった。

結核予防対策について、結核の現状より早期発見、早期治療を推進するため、管内の医療機関等を対象に研修会を行った。

結核患者の治療の完遂を促し、多剤耐性菌の発生予防及び結核のまん延を防止することを目的に、個別患者支援計画に基づき DOTS（直接服薬確認療法）を中心とする患者支援を行っている。

結核専門医療機関との連携会議について、DOTS 会議においては、患者情報の共有と、患者管理及び患者の療養支援の推進を図った。また、コホート検討会においては、治療成績や支援対策の評価と検討を行った。

所内では、結核患者ケース検討会を毎月開催し、患者支援の徹底を図った。

2 感染症予防事業

感染症発生時は速やかに患者及び接触者や施設等への疫学調査・指導を実施し、感染症のまん延予防を行うとともに、各関係機関と協力し感染源の究明に努めた。

平常時においても感染予防、拡大防止のための相談や指導等を行うとともに、学校、高齢者施設・乳幼児施設等を対象に感染症予防のための研修会等を開催している。

3 エイズ対策事業

エイズ予防対策としては、関係職種や学校等を対象に講習会を開催するとともに、管内大学等にはパンフレットとキャンペーングッズの配布を行い正しい知識の普及・啓発を図った。

さらに、世界エイズデーに合わせて街頭エイズ予防キャンペーンを実施した。

エイズ相談（窓口・電話）では、相談内容に応じた対応をするとともに正しい知識の伝達に努めた。

HIV 抗体検査については、即日検査（月 2 回）及び夜間検査（月 1 回）を実施し、感染者の早期発見に努めている。

また、HIV 検査と同時時間帯に性感染症及び肝炎の検査を実施している。

4 肝炎治療特別促進事業

B型ウイルス性肝炎及びC型ウイルス性肝炎の治癒を目的として、平成20年度からインターフェロン治療、平成22年度から核酸アナログ製剤治療、平成23年度からインターフェロン3剤併用療法への医療費助成制度が開始され、窓口相談・申請手続き業務を行っている。平成26年度にはインターフェロンフリー治療が助成対象となり、翌平成27年度にはインターフェロンフリー治療の助成対象薬剤が拡充されたことに伴い、対象者が増加している状況である。

肝炎検査を月2回、HIV検査及び性感染症の検査と同時時間帯に実施している。

5 難病対策事業

原因不明で治療方法が確立していない特定疾患56疾患の患者に対し、医療費の自己負担を助成していたが、「難病の患者に対する医療等に関する法律」（難病法）に基づく医療費助成制度が平成27年1月1日に施行された。それに伴い対象は110疾病に拡充され、さらに同年7月1日には、306疾病に拡大した。

また、これらの患者やその家族が抱える医療や療養生活に関する問題等に対し、専門医による相談、保健師等による訪問指導や窓口相談を実施した。

6 原爆被爆者対策事業

「原子爆弾被爆者に対する援護に関する法律」等に基づき、被爆者手帳の交付、各種手当の支給及び被爆者の健康保持のための健康診断を年2回実施した。

1 結核予防事業

(1) 管内結核患者登録者数の動向

表 1－(1) 登録者数の年次推移

(単位：人)

区分 \ 年		平成 13 年	平成 18 年	平成 23 年	平成 24 年	平成 25 年	平成 26 年	平成 27 年
管 内 人 口		326, 925	444, 415	463, 862	463, 995	466, 680	469, 779	472, 449
新 登 録 患 者 数		76	86	81	71	72	67	75
年 末 時 登 録 者 数		193	204	216	228	260	191	179
結核死亡者数	管 内	2	6	1	2	4	7	6
	千葉県	78	86	67	51	85	55	68
結 核 死 亡 率 (人口 10 万対)	管 内	0. 6	1. 4	0. 2	0. 43	0. 85	1. 5	1. 3
	千葉県	1. 5	1. 7	1. 28	1. 0	1. 63	1. 6	1. 3
罹 患 率 (人口 10 万対)	管 内	23. 2	19. 4	17. 5	15. 3	15. 4	14. 3	15. 9
	千葉県	23. 2	20. 0	16. 3	14. 1	14. 8	13. 8	13. 7
有 病 率 (人口 10 万対)	管 内	21. 7	12. 4	17. 2	17. 2	12. 0	10. 2	9. 9
	千葉県	25. 4	14. 6	11. 4	8. 9	9. 5	8. 8	9. 0

(注) ①人口は各年 10 月 1 日千葉県常住人口による。

②千葉県のデータには千葉市を除く。

③新登録患者及び登録者数は、無症状病原体保有者・疑似症患者を除く。

④罹患率：新登録活動性結核患者数×10 万 /人口

有病率：年末時活動性結核患者数×10 万 /人口

(2) 新登録患者数

表1－(2) 新登録患者数(活動性分類別)

(単位：人)

区分 年 市町村	総 数	活 動 性 結 核					(人 口 10 患 万 対) 率	肺 結 核 の う ち の 占 め る 割 合 (%)	(無 症 状 病 原 体 保 有 者 (潜 在 性 結 核 感 染 症)	疑 似 症 患 者	の 結 核 死 亡 者 死 亡 者 体	の 結 核 死 亡 疑 い 者 体	
		計	活動性肺結核										肺 活 外 動 結 核 性
			陽 喀 痰 塗 性 抹	結 核 菌 陽 性 性	そ の 他 の 他 性	そ の 陰 性							
平成 25 年	72	56	29	17	10	16	15.4	51.7	25	－	－	－	
平成 26 年	67	49	18	25	6	18	14.3	36.7	31	－	1	－	
平成 27 年	75	57	21	28	8	18	15.9	36.8	27	－	－	－	
習志野市	22	18	6	8	4	4	13.1	33.3	4	－	－	－	
八千代市	36	26	8	16	2	10	18.5	30.8	11	－	－	－	
鎌ヶ谷市	17	13	7	4	2	4	15.5	53.8	12	－	－	－	

(3) 年末時登録者数 (活動性分類別)

表1－(3) 年末時登録者数(活動性分類別)

(単位：人)

区分 年 市 町 村	総 数	活 動 性 結 核					不 活 動 性 結 核	不 明	有 （人口 10 万 対） 率	無症状病原体保有者 （潜在性結核感染症） （別掲）	
		計	活 動 性 肺 結 核			肺 活 外 動 結 核 性				治 療 中	観 察 中
			陽 喀 登 痰 録 塗 性 抹	結 核 菌 陽 性	登 録 他 の 時						
平成 25 年	180	56	29	10	6	11	76	48	12.0	14	66
平成 26 年	191	48	13	16	4	15	65	78	10.2	21	68
平成 27 年	179	47	16	13	5	13	83	49	9.9	20	51
習志野市	67	16	6	4	2	4	32	19	9.5	4	13
八千代市	66	20	5	7	1	7	31	15	10.3	10	12
鎌ヶ谷市	46	11	5	2	2	2	20	15	10.0	6	26

(4) 新登録患者数 (年齢階級別)

表1－(4) 新登録患者数(年齢階級別)

(単位：人)

年 市 町 村	区分	総 数	0	10	20	30	40	50	60	70	80	90
			9 歳	19 歳	29 歳	39 歳	49 歳	59 歳	69 歳	79 歳	89 歳	歳 以 上
平成25年		72	－	1	4	5	8	5	14	16	15	4
平成26年		67	－	3	2	13	4	6	8	13	13	5
平成27年		75	－	2	9	8	8	4	9	16	15	4
習志野市		22	－	1	4	4	2	1	1	1	8	－
八千代市		36	－	－	5	4	3	1	7	9	4	3
鎌ヶ谷市		17	－	1	－	－	3	2	1	6	3	1

(5) 年末時登録者数 (年齢階級別)

表1－(5) 年末時登録者数(年齢階級別)

(単位：人)

年 市 町 村	区分	総 数	0	10	20	30	40	50	60	70	80	90
			9 歳	19 歳	29 歳	39 歳	49 歳	59 歳	69 歳	79 歳	89 歳	歳 以 上
平成25年		180	－	3	12	15	33	28	25	28	31	5
平成26年		191	－	4	13	18	32	29	22	34	35	4
平成27年		179	－	4	16	16	23	19	27	37	31	6
習志野市		67	－	2	8	8	8	7	8	7	17	2
八千代市		66	－	－	6	6	9	4	15	15	8	3
鎌ヶ谷市		46	－	2	2	2	6	8	4	15	6	1

(6) 患者面接実施状況

表1－(6) 患者面接実施状況

年		区分	人 数 (人)	DOTS 内容（延件数）												
				登録時喀痰塗抹陽性						喀痰塗抹陰性			潜在性結核			
				入院時				退院後			訪問 面接	所内 面接	電話・ その他	訪問 面接	所内 面接	電話・ その他
				訪問 回数	左の内訳			訪問 面接	所内 面接	電話・ その他						
					初 回	期間 内	退院 前									
平成 25 年度	保 健 師	3	91	29	58	8	39	11	81	119	99	195	2	4	14	
	DOTS 支援員	3	-	-	-	-	-	-	63	14	-	610	2	5	130	
平成 26 年度	保 健 師	3	35	17	18	-	11	38	136	31	22	241	1	12	107	
	DOTS 支援員	2	-	-	-	-	-	-	84	-	-	287	-	-	174	
平成 27 年	保 健 師	4	53	24	19	10	16	56	252	12	80	392	-	10	68	
	DOTS 支援員	5	-	-	-	-	-	-	14	-	-	195	-	-	59	
平成 27 年 患 者 数 (人)			21							54			27			

※平成27年度以降は年（1月1日～12月31日）で集計

(7) DOTS実施状況

表1－(7) DOTS実施状況

(単位：人)

年 区 分		全 結 核 患 者			潜 在 性 結 核 感 染 症
		肺 結 核 患 者 （ 再 掲 ）			
		肺 結 核 喀 痰 塗 抹 陽 性 患 者 （ 再 掲 ）			
平 成 25 年	実 施 者 数	58	45	20	9
	患 者 数 ※	77	57	23	20
平 成 26 年	実 施 者 数	67	54	28	13
	患 者 数 ※	71	58	28	20
平 成 27 年	実 施 者 数	61	45	18	24
	患 者 数 ※	62	45	18	30

※前年の新登録患者数（転入者を含み、治療開始1ヶ月未満に死亡した者及び転出者を除く）。

※平成27年1月7日付け健感発0107第1号厚生労働省健康局結核感染症課長通知「「結核に関する特定感染症予防指針」に掲げる具体的な目標の計算方法について（情報提供）」を参照

(8) 結核接触者健康診断実施状況

ア 家族健診実施状況

表 1－(8)－ア 家族健診実施状況

区 分 年	対象者数 実人数 ①	実施者数 実人数 ②	実施率 ②/① (%)	実施件数 延件数	実施項目 (延件数)					結 果 (実人数)				
					I G R A ※	ツ 反	エ ッ ク ス 線	喀痰検査		異常なし	発病のおそれ	潜在性結核感染症	要医療 ③	要医療率 ③/② (%)
								塗 抹	培 養					
平成 25 年度	128	120	93.8	193	44	2	147	-	-	111	2	6	1	0.8
平成 26 年度	92	80	87.0	219	81	8	121	-	-	73	2	5	-	-
平成 27 年	99	97	98.0	150	70	9	121	-	-	92	-	4	1	1.0
保 健 所				78	39	-	56	-	-					
委 託 分				68	31	9	61	-	-					
そ の 他				4	-	-	4	-	-					

※保健所採血等による実施は保健所に、受診券による実施は委託分に計上

※平成 27 年度以降は年 (1 月 1 日～12 月 31 日) で集計

イ 接触者健診実施状況

表 1－(8)－イ 接触者健診実施状況

区 分 年	対象者数 実人数 ①	実施者数 実人数 ②	実施率 ②/① (%)	実施件数 延件数	実施項目 (延件数)					結 果 (実人数)				
					I G R A ※	ツ 反	エ ッ ク ス 線	喀痰検査		異常なし	発病のおそれ	潜在性結核感染症	要医療 ③	要医療率 ③/② (%)
								塗 抹	培 養					
平成 25 年度	602	596	99.0	768	175	-	593	-	-	558	22	14	2	0.34
平成 26 年度	789	605	76.7	1087	450	78	315	1	1	587	0	14	4	0.66
平成 27 年	703	691	98.3	946	601	95	387	-	-	659	6	20	6	0.87
保 健 所				566	398	66	158	-	-					
委 託 分				283	203	29	134	-	-					
そ の 他				97	-	-	95	-	-					

※保健所採血等による実施は保健所に、受診券による実施は委託分に計上

※平成 27 年度以降は年 (1 月 1 日～12 月 31 日) で集計

(9) 管理健診実施状況

表 1－(9) 管理健診実施状況

区 分 年	対象者数 (実人数) ①	実施者数 (実人数) ②	実施率 ②/① (%)	実施件数 (延件数)	エックス線撮影	喀痰検査		結果 (実人数)			
						塗抹	培養	観察不要	経過観察	要医療 ③	要医療率 ③/② (%)
平成25年度	221	189	85.5	352	274	40	38	78	195	1	0.36
平成26年度	227	179	78.6	288	238	25	25	68	169	1	0.42
平成 27 年	192	171	89.1	261	261	28	28	80	91	-	-
保 健 所				20	20	1	1				
委 託 分				220	220	27	27				
そ の 他				21	21	0	0				

※平成 27 年度以降は年（1 月 1 日～12 月 31 日）で集計

(10) 結核医療費公費負担診査状況

表 1－(10)－ア 通院患者に対する結核医療費公費負担診査状況(37条の2) (単位：件)

区分 年	総 数			被用者保険						国民健康 保 険			後期高齢者			生活保護法			そ の 他		
				本 人			家 族														
	諮 問	合 格	不 合 格	諮 問	合 格	不 合 格	諮 問	合 格	不 合 格	諮 問	合 格	不 合 格	諮 問	合 格	不 合 格	諮 問	合 格	不 合 格			
平成 25 年度	152	151	1	39	38	1	5	5	-	50	50	-	43	43	-	14	14	-	1	1	-
平成 26 年度	154	154	-	39	39	-	20	20	-	60	60	-	27	27	-	7	7	-	1	1	-
平成 27 年	156	156	-	31	31	-	14	14	-	51	51	-	46	46	-	13	13	-	1	1	-

※平成 27 年度以降は年（1 月 1 日～12 月 31 日）で集計

表 1－(10)－イ 入院患者に対する結核医療費公費負担状況(37条) (単位：件)

年	区分 総 数	被用者保険		国民健康 保 険	後期高齢者	生活保護法	そ の 他
		本 人	家 族				
平成 25 年度	37	5	－	15	16	1	－
平成 26 年度	31	5	2	13	10	1	－
平成 27 年	46	6	1	19	12	8	－

※本表は実人数で計上

※平成 27 年度以降は年（1 月 1 日～12 月 31 日）で集計

(1 1) 就業制限通知及び入院勧告並びに入院措置数

表 1 - (1 1) - ア 就業制限通知数 (単位：件)

区分 年	総数
平成 25 年度	36
平成 26 年度	23
平成 27 年	25

※平成 27 年度以降は年（1 月 1 日～12 月 31 日）で集計

表 1 - (1 1) - イ 入院勧告数 (単位：件)

区分 年	応急入院勧告数 (19 条第 1 項)	入院勧告数 (20 条第 1 項)	入院延長通知数 (20 条第 4 項)
平成 25 年度	37	37	67
平成 26 年度	21	19	25
平成 27 年	23	22	35

※平成 27 年度以降は年（1 月 1 日～12 月 31 日）で集計

表 1 - (1 1) - ウ 入院措置数 (単位：件)

区分 年	入院措置数
平成 25 年度	-
平成 26 年度	-
平成 27 年	-

※平成 27 年度以降は年（1 月 1 日～12 月 31 日）で集計

(1 2) ツベルクリン反応検査・I G R A 検査実施状況

表 1 - (1 2) - ア ツベルクリン反応検査実施状況

(単位 : 件)

区分 年	ツ反検査数(延件数)		発赤径			被検者の年齢		
	保健所	委託分	陰性	30mm未満	30mm以上	未就学児	小学生	その他
平成 25 年度	0	2	2	-	-	2	-	-
平成 26 年度	48	38	71	7	8	86	-	-
平成 27 年	66	38	95	8	-	104	-	-

※平成 27 年度以降は年 (1 月 1 日 ~ 12 月 31 日) で集計

表 1 - (1 2) - イ I G R A 検査実施状況 (単位 : 件)

区分 年	IGRA 検査数 (延件数)		結 果			
	保健所	委託分	陰性	判定保留	陽性	判定不可
平成 25 年度	182	37	187	11	21	-
平成 26 年度	417	114	511	10	10	-
平成 27 年	437	234	619	23	29	-

※平成 27 年度以降は年 (1 月 1 日 ~ 12 月 31 日) で集計

(1 3) エックス線検査実施状況

表 1 - (1 3) エックス線検査実施状況

(単位 : 件)

区分 年	総 数		接 触 者		管 理	
	保健所	委託分	保健所	委託分	保健所	委託分
平成 25 年度	559	414	539	201	20	213
平成 26 年度	357	395	326	244	31	151
平成 27 年	234	535	214	294	20	241

※平成 27 年度以降は年 (1 月 1 日 ~ 12 月 31 日) で集計

(1 4) 定期結核健康診断実施報告状況

表 1 - (1 4) 定期結核健康診断実施報告状況

(単位：人)

年 区 分		項 目		対 象 者 数 ①	健 診 者 数 ②	健 診 率 ② / ① (%)	間 接 撮 影 件 数	直 接 撮 影 件 数	喀 痰 検 査 件 数	発 病 の お そ れ が あ る 者 の 数	患 者 発 見 数 ③	患 者 発 見 率 ③ / ② (%)
平成 25 年度				135,640	50,059	36.9	23,093	26,902	251	2	2	0.003
平成 26 年度				127,256	74,814	58.8	44,949	18,348	328	2	2	0.0026
平成 27 年				110,455	26,048	23.6	23,210	30,127	298	9	3	0.012
内 訳	学 校 長 (高校以上の生徒・学生)		23		22	95.7	10,096	531	－	－	1	4.5
	施 設 長	福 祉 施 設 入 所 者 (65 歳以上)	31		31	100	769	1,148	－	1	－	－
		そ の 他 施 設 入 所 者	－		－	－	－	－	－	－	－	－
		事 業 者		730		569	77.9	6,037	9,330	68	7	1
	市 町 村 長		109,671		25,426	23.2	6,308	19,118	230	1	1	0.004

※平成 27 年度以降は年（1 月 1 日～12 月 31 日）で集計

(1 5) 結核予防啓発活動実施状況

表 1 - (1 5) 結核予防啓発活動実施状況

実施日	場 所	形 態	テ ー マ	実施対象	参加人数 (人)
平成 27 年 6 月 2 日	津田沼 中央総 合病院	講習会	結核対策について	習志野市内福 祉職員等	26
平成 27 年 7 月 6 日	第二北 総病院	講習会	結核対策について 肺結核診療の実践 画像診断セミナー	医療機関職員 管内市職員	61
平成 27 年 10 月 27 日	習志野 保健所	講習会	高齢者施設における感染症 とその対策について	高齢者障害者 等施設職員 管内市職員	41
平成 27 年 10 月 28 日	習志野 保健所	講習会	保育施設における平常時か らの感染症対策	管内保育施設 管内市担当課	35
平成 27 年 11 月 17 日	習志野 保健所	講習会	結核対策について	管内ケアマネ ージャー等	37
平成 27 年 12 月 17 日	習志野 市教育 委員会	講習会	学校で気をつけたい感染症 について	習志野市職員	23
平成 28 年 3 月 24 日	鎌ヶ谷 総合病 院	講習会	結核の基礎について 事例報告	医療機関職員 管内市職員	43

2 感染症予防事業

(1) 1 類感染症発生状況

表 2 - (1) 1 類感染症発生状況 (単位：人)

年	疾 患 名	人 数	市 町 村
平成 27 年	-	-	-

(2) 2 類感染症発生状況 (結核は除く)

表 2 - (2) 2 類感染症発生状況 単位：人

年	疾 患 名	人 数	市 町 村
平成 27 年	-	-	-

(3) 3類感染症発生状況

表2－(3) 3類感染症発生状況

(単位：人)

年・市町村	病類	総数	コレラ	細菌性赤痢	腸管出血性 大腸菌 感染症	腸チフス	パラチフス
平成25年		7	－	1	4	2	－
平成26年		36	－	2	34	－	－
平成27年		12	－	－	12	－	－
習志野市		3	－	－	3	－	－
八千代市		4	－	－	4	－	－
鎌ヶ谷町		3	－	－	3	－	－
その他 (管外)		2	－	－	2	－	－

(4) 4類感染症発生状況

表2－(4) 4類感染症病発生状況

(単位：人)

疾患名		平成25年	平成26年	平成27年
1	E型肝炎	－	1	－
2	ウエストナイル熱	－	－	－
3	A型肝炎	1	－	－
4	エキノкокクス症	－	－	－
5	黄熱	－	－	－
6	オウム病	－	－	－
7	オムスク出血熱	－	－	－
8	回帰熱	－	－	－
9	キャサナル森林病	－	－	－
10	Q熱	－	－	－
11	狂犬病	－	－	－
12	コクシジオイデス症	－	－	－
13	サル痘	－	－	－
14	ジカウイルス感染症	－	－	－
15	重症熱性血小板減少症候群(病原体がフ レボウイルス属SFTSウイルスであ るものに限る。)	－	－	－
16	腎症候性出血熱	－	－	－
17	西部ウマ脳炎	－	－	－
18	ダニ媒介脳炎	－	－	－
19	炭疽	－	－	－
20	チングニア熱	－	－	－
21	つつが虫病	－	－	－
22	デング熱	2	1	1
23	東部ウマ脳炎	－	－	－

24	鳥インフルエンザ（鳥インフルエンザ（H5N1 及び H7N9）を除く）	-	-	-
25	ニパウイルス感染症	-	-	-
26	日本紅斑熱	-	-	-
27	日本脳炎	-	-	-
28	ハンタウイルス肺症候群	-	-	-
29	B ウイルス病	-	-	-
30	鼻疽	-	-	-
31	ブルセラ症	-	-	-
32	ベネズエラウマ脳炎	-	-	-
33	ヘンドラウイルス感染症	-	-	-
34	発しんチフス	-	-	-
35	ボツリヌス症	-	-	-
36	マラリア	-	-	-
37	野兔病	-	-	-
38	ライム病	-	-	-
39	リッサウイルス感染症	-	-	-
40	リフトバレー熱	-	-	-
41	類鼻疽	-	-	-
42	レジオネラ症	6	9	4
43	レプトスピラ症	-	-	-
44	ロッキーマウンテン山紅斑熱	-	-	-

※14 の疾患は平成 28 年 2 月より届出の対象となった。

(5) 5 類感染症発生状況

ア 感染症発生動向調査事業に基づく全数把握対象感染症

表2- (5) -ア 5類感染症発生状況

(単位：人)

疾 患 名		平成 25 年	平成 26 年	平成 27 年
1	アメーバ赤痢	3	3	5
2	ウイルス性肝炎(E 型肝炎及び A 型肝炎を除く)	-	-	2
3	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	-	-	6
4	急性脳炎(ウエストナイル脳炎、西部ウマ脳炎、ダニ媒介脳炎、東部ウマ脳炎、日本脳炎、ベネズエラウマ脳炎及びリフトバレー熱を除く)	2	-	2
5	クリプトスポリジウム症	-	-	-
6	クロイツフェルト・ヤコブ病	-	-	1
7	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	-	-	1
8	後天性免疫不全症候群	5	5	5
9	ジアルジア症	-	-	1
10	侵襲性インフルエンザ菌感染症	-	-	2
11	侵襲性髄膜炎菌感染症	-	-	2
12	侵襲性肺炎球菌感染症	2	1	7
13	水痘（入院例に限る。）	-	-	-
14	先天性風しん症候群	-	-	-

15	梅毒	4	6	7
16	播種性クリプトコックス症	-	-	-
17	破傷風	-	-	-
18	バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症	-	-	-
19	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	-	-	1
20	風しん	76	1	-
21	麻疹	-	2	-
22	薬剤耐性アシネトバクター感染症	-	-	1

※3, 13, 16 の疾患は平成 26 年 9 月より届出の対象となった

イ 感染症発生動向調査事業に基づく定点報告状況

(ア) 患者定点

a 患者定点医療機関

表 2 - (5) - イ - (ア) - a 患者定点医療機関数

(単位：箇所)

インフルエンザ	小 児 科	眼 科	性 感 染 症	基 幹	疑 似 症
16	10	3	3	1	22

b 定点把握対象疾患

表 2 - (5) - イ - (ア) - b 定点把握対象疾患状況

(単位：人)

	疾 患 名	平成 25 年	平成 26 年	平成 27 年
1	インフルエンザ(鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症を除く)	3,767	6,261	3,546
2	RS ウイルス感染症	263	228	274
3	咽頭結膜熱	306	263	417
4	A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1,204	1,128	1,357
5	感染性胃腸炎	1,856	1,561	1,629
6	水痘	624	596	256
7	手足口病	1,245	216	1,325
8	伝染性紅斑	10	95	471
9	突発性発しん	227	241	272
10	百日咳	6	18	10
11	ヘルパンギーナ	418	520	696
12	流行性耳下腺炎	132	280	371
13	急性出血性結膜炎	1	-	-
14	流行性角結膜炎	151	166	184
15	性器クラミジア感染症	56	68	59
16	性器ヘルペスウイルス感染症	14	21	22
17	尖圭コンジローマ	16	1	0
18	淋菌感染症	32	25	15
19	感染性胃腸炎(病原体がロタウイルスであるものに限る。)	-	-	-
20	クラミジア肺炎(オウム病を除く)	-	-	-
21	細菌性髄膜炎(髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く。)	-	-	-
22	マイコプラズマ肺炎	-	1	-
23	無菌性髄膜炎	-	-	3
24	ペニシリン耐性肺炎球菌感染症	35	7	27
25	メシチリン耐性黄色ブドウ菌感染	91	18	54
26	薬剤耐性緑膿菌感染症	-	-	-

(イ) 病原体定点

表 2 - (5) - イ - (イ) 病原体定点医療機関及び検体提供数

区 分	インフルエンザ	小 児 科	眼 科	基 幹
医療機関数 (箇所)	2	2	1	1
検体提供数 (件)	-	52	-	-

(6) その他

表 2 - (6) インフルエンザ様疾患届出状況 (単位：件)

年度 区分	区 分	届 出 施設数	届 出 患者数	措 置			
				学 級 閉鎖数	学 年 閉鎖数	休校数	その他
平成 25 年度		71	2,451	258	12	－	－
平成 26 年度		54	1,577	168	6	1	－
平成 27 年度		73	1,947	236	9	1	－
幼 稚 園		12	186	18	4	1	－
小 学 校		45	1,492	181	4	－	－
中 学 校		13	210	25	1	－	－
高等学校		－	－	－	－	－	－
そ の 他		3	59	12	－	－	－

(7) 感染症発生に伴う健康調査及び検査実施状況

ア 1 類感染症

表 2 - (7) - ア 1 類感染症発生に伴う健康調査及び検査実施状況

年度	病 類	疾 患 名	調 査 (人)	検 査 (件)
平成 2 7 年度		-	-	-

イ 2 類感染症

表 2 - (7) - イ 2 類感染症発生に伴う健康調査及び検査実施状況 (結核は除く)

年度	病 類	疾 患 名	調 査 (人)	検 査 (件)
平成 2 7 年度		-	-	-

ウ 3類感染症

表 2 - (7) - ウ 3 類感染症発生に伴う健康調査及び検便実施状況

(単位：調査(人)，検便(件))

病類 年度	総 数		コレラ		細菌性赤痢		腸管出血性 大 腸 菌 感 染 症		腸チフス		パラチフス		菌陽性者数
	調 査	検 便	調 査	検 便	調 査	検 便	調 査	検 便	調 査	検 便	調 査	検 便	
平成 25 年度	10	36	-	-	1	3	7	25	2	8	-	-	1
平成 26 年度	39	506	-	-	4	11	35	495	-	-	-	-	24
平成 27 年度	15	53	-	-	-	-	15	53	-	-	-	-	21

エ 4類感染症

表 2 - (7) - エ 4 類感染症健康調査状況

(単位：人)

区 分	疾 患 名	調 査
平成 2 7 年度	デング熱	1
	レジオネラ症	5
	マラリア	1

オ 5類感染症

表 2 - (7) - オ 5 類感染症健康調査状況

(単位：人)

区 分	疾 患 名	調 査
平成 2 7 年度	無菌性髄膜炎菌感染症	4
	侵襲性髄膜炎菌感染症	1
	感染性胃腸炎	180
	インフルエンザ	254

(8) 管外での感染症発生（疑いを含む）に伴う調査状況及び検便実施状況

表 2 - (8) 管外での感染症発生（疑いを含む）に伴う調査数及び検便実施数

(単位：調査 (人))

区 分 年 度	総 数	管 外 で の 感 染 症 (検 疫 通 報 除 く)	調 査 主 申 告 に よ る 調 査 数	検 疫 通 報 に 伴 う 接 触 者 及 び 同 行 者 の 調 査 数	検 便 実 施 者 数 (件)	検 出 菌			
						コ レ ラ	赤 痢	O 157	そ の 他
平成 2 5 年度	1	1	-	-	1	-	-	-	-
平成 2 6 年度	2	2	-	-	2	-	-	-	-
平成 2 7 年度	4	4	-	-	12	-	-	-	1

(9) 衛生研究所への確認検査依頼数

表 2 - (9) 衛生研究所への確認検査依頼数

(単位：件)

区 分	疾 患 名	結 果		計
		陽 性	陰 性	
平成 2 7 年度	腸管出血性大腸菌感染症	22	0	22
	サポウイルス	1	0	1
	アストロウイルス	2	0	2

(10) 就業制限通知数（結核を除く）

表 2 - (10) 就業制限通知数

(単位：件)

区 分 年 度	疾 患 名			計
	腸管出血性大腸 菌感染症	細菌性赤痢	腸チフス	
平成 25 年度	6	1	1	8
平成 26 年度	35	3	-	38
平成 27 年度	12	-	-	12

(1 1) 感染症予防啓発活動実施状況

表 2 - (1 1) 感染症予防啓発活動実施状況

実施日	場 所	テ ー マ	実施対象	参加人数 (人)
5 月 29 日、 6 月 4 日	習志野健康福祉センター	健康危機管理感染症所内研修会	所内職員 管内市職員	85
8 月 7 日	船橋中央病院	中東呼吸器症候群 (M E R S) 疑似症患者移送訓練	所内職員 管内市職員	42
10 月 27 日	習志野健康福祉センター	高齢者・障害者施設向け感染症 研修会	管内高齢者 障害者施設 職員 管内市職員	41
10 月 28 日	習志野健康福祉センター	保育施設向け感染症研修会	管内保育施設職員 管内市職員	35
12 月 17 日	習志野市教育委員会	習志野市安全衛生委員会における 感染症研修会	習志野市職員	23

3 エイズ対策事業

(1) エイズ予防啓発活動実施状況

ア 講演会・講習会等開催状況

表 3 - (1) - ア 講演会・講習会等実施状況

実施日	場 所	活動内容	テ ー マ	対 象	参加人数 (人)
平成 27 年 8 月 28 日	屋敷ヘルス ステーション	講習会	習志野市第二 中学校区地域 保健連絡会	保育所、幼稚園、 小・中学校関係 者、市保健師	1 3
平成 27 年 11 月 18 日	習志野市 教育委員会	講習会	定例校長会	小・中学校長、教 育委員会関係者	8 0
平成 27 年 12 月 17 日	習志野市 教育委員会	講習会	習志野市学校 職員安全衛生 委員会	教育委員会、学校 職員等	2 3
平成 28 年 1 月 31 日	八千代市総 合生涯学習 プラザ	資料展示 相談対応	思春期保健 シンポジウム	学校関係者、保護 者、医療関係者等	8 3

イ HIV 検査普及週間・世界エイズデー等のイベント実施状況

表 3 - (1) - イ HIV 検査普及週間・世界エイズデー等のイベント実施状況

実 施 日	主 な 内 容
平成 27 年 12 月 1 日	イオン津田沼店の新津田沼駅側連絡通路にて、薬物乱用防止啓発活動と合同で街頭キャンペーンを実施。エイズ・性感染症に関するリーフレット及びキャンペーングッズを配布し、知識の普及と予防啓発を行う。(1,000 部配布)

(2) エイズ相談受付状況

表 3 - (2) エイズ相談受付状況 (単位：件)

性別 年度	相談方法	男	女	小計	合計
平成 25 年度	電話相談	93	46	139	785
	来所相談	440	206	646	
	そ の 他	-	-	-	
平成 26 年度	電話相談	51	30	81	476
	来所相談	260	133	393	
	そ の 他	2	-	2	
平成 27 年度	電話相談	38	21	59	352
	来所相談	196	97	293	
	そ の 他	-	-	-	

(3) HIV・性感染症・肝炎検査受付状況

表3-(3)-ア HIV検査受付状況

(単位：件)

性別 年度 年齢階級		男	女	合 計	外 国 籍 者 数 (人)	確 認 検 査 件 数
平成 25 年度		438	201	639	11	4
平成 26 年度		257	130	387	5	4
平成 27 年度		194	97	291	4	1
年 齢 階 級	～19 歳	5	3	8	-	-
	20 歳～29 歳	63	42	105	1	1
	30 歳～39 歳	55	25	80	3	-
	40 歳～49 歳	45	18	63	-	-
	50 歳～59 歳	10	6	16	-	-
	60 歳～69 歳	14	1	15	-	-
	70 歳～	2	2	4	-	-
	不 明	-	-	-	-	-

表3-(3)-イ 性感染症・肝炎検査受付状況

(単位：件)

検査 性別 年 度	クラミジア検 査			梅毒血清検査			肝炎検査					
							C 型肝炎検査			B 型肝炎検査		
	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女
平成 25 年度	607	413	194	611	415	196	621	418	203	620	417	203
平成 26 年度	376	248	128	372	246	126	374	246	128	373	246	127
平成 27 年度	261	181	80	281	187	94	287	192	95	286	191	95

※クラミジア検査は平成27年度から病原体検査，それ以前は抗体検査

※肝炎検査は肝炎対策事業として実施

4 肝炎治療特別促進事業

表４－（１）肝炎治療特別促進事業受給者状況（単位：人）

治 療 年度・市町村	核酸アナログ 製剤	インター フェロン	インターフェロン フリー	計
平成２５年	116	47	-	163
平成２６年	135	64	51	250
平成２７年	186	9	235	430
習志野市	54	4	80	138
八千代市	95	2	98	195
鎌ヶ谷市	37	3	57	97

5 難病対策事業

表５－（１）特定疾患治療研究費受給者状況（単位：件）

年 度・市町村別 疾 患 名 下段：重症(内数)	平 成 25 年 度	平 成 26 年 度	平 成 27 年 度	習 志 野 市	八 千 代 市	鎌 ヶ 谷 市
総 数	2,827	9	2	1	0	1
1 ベーチェット病	68	-	-	-	-	-
	6	-	-	-	-	-
2 多発性硬化症	62	-	-	-	-	-
	13	-	-	-	-	-
3 重症筋無力症	74	-	-	-	-	-
	4	-	-	-	-	-
4 全身エリテマトーデス	238	-	-	-	-	-
	14	-	-	-	-	-
5 スモン	2	2	2	1	0	1
	2	2	2	1	0	1
6 再生不良性貧血	30	-	-	-	-	-
	0	-	-	-	-	-
7 サルコイドーシス	67	-	-	-	-	-
	8	-	-	-	-	-
8 筋萎縮性側索硬化症	21	-	-	-	-	-
	14	-	-	-	-	-
9 強皮症・皮膚筋炎・多発性筋炎	187	-	-	-	-	-
	3	-	-	-	-	-
10 特発性血小板減少性紫斑病	85	-	-	-	-	-

	1	-	-	-	-	-
11 結節性動脈周囲炎	39	-	-	-	-	-
	5	-	-	-	-	-
12 潰瘍性大腸炎	539	-	-	-	-	-
	0	-	-	-	-	-
13 大動脈炎症候群	24	-	-	-	-	-
	5	-	-	-	-	-
14 ビュルガー病	19	-	-	-	-	-
	1	-	-	-	-	-
15 天疱瘡	22	-	-	-	-	-
	1	-	-	-	-	-
16 脊髄小脳変性症	78	-	-	-	-	-
	48	-	-	-	-	-
17 クローン病	146	-	-	-	-	-
	1	-	-	-	-	-
18 難治性の肝炎のうち劇症肝炎	2	0	0	0	0	0
	2	0	0	0	0	0
19 悪性関節リウマチ	16	-	-	-	-	-
	5	-	-	-	-	-
20 パーキンソン病関連疾患	361	-	-	-	-	-
	81	-	-	-	-	-
21 アミロイドーシス	7	-	-	-	-	-
	1	-	-	-	-	-
22 後縦靱帯骨化症	113	-	-	-	-	-
	14	-	-	-	-	-
23 ハンチントン病	2	-	-	-	-	-
	2	-	-	-	-	-
24 モヤモヤ病（ウィリス動脈輪閉塞症）	51	-	-	-	-	-
	8	-	-	-	-	-
25 ウェゲナー肉芽腫症	9	-	-	-	-	-
	2	-	-	-	-	-
26 特発性拡張型うつ血型心筋症	53	-	-	-	-	-
	11	-	-	-	-	-
27 多系統萎縮症	29	-	-	-	-	-
	17	-	-	-	-	-
28 表皮水疱症	3	-	-	-	-	-
	0	-	-	-	-	-
29 膿疱性乾癬	5	-	-	-	-	-
	0	-	-	-	-	-
30 広範脊柱管狭窄症	11	-	-	-	-	-

	6	-	-	-	-	-
31 原発性胆汁性肝硬変	90	-	-	-	-	-
	1	-	-	-	-	-
32 重症急性膵炎	13	6	0	0	0	0
	13	6	0	0	0	0
33 特発性大腿骨頭壊死症	53	-	-	-	-	-
	3	-	-	-	-	-
34 混合性結合組織病	37	-	-	-	-	-
	2	-	-	-	-	-
35 原発性免疫不全症候群	5	-	-	-	-	-
	0	-	-	-	-	-
36 特発性間質性肺炎	21	-	-	-	-	-
	1	-	-	-	-	-
37 網膜色素変性症	109	-	-	-	-	-
	64	-	-	-	-	-
38 プリオン病	1	1	0	0	0	0
	1	1	0	0	0	0
39 原発性肺高血圧症	6	-	-	-	-	-
	0	-	-	-	-	-
40 神経繊維腫症Ⅰ型Ⅱ型	7	-	-	-	-	-
	2	-	-	-	-	-
43 特発性慢性肺血栓塞栓症	12	-	-	-	-	-
	1	-	-	-	-	-
44 -1 ライソゾーム病	2	-	-	-	-	-
	0	-	-	-	-	-
45 副腎白質ジストロフィー	3	-	-	-	-	-
	1	-	-	-	-	-
47 脊髄性筋萎縮症	6	-	-	-	-	-
	6	-	-	-	-	-
48 球脊髄性筋萎縮症	2	-	-	-	-	-
	2	-	-	-	-	-
49 慢性炎症性脱髄性多発神経炎	10	-	-	-	-	-
	4	-	-	-	-	-
50 肥大型心筋症	9	-	-	-	-	-
	2	-	-	-	-	-
52 ミトコンドリア病	2	-	-	-	-	-
	0	-	-	-	-	-
53 リンパ脈管筋腫症	5	-	-	-	-	-
	0	-	-	-	-	-
55 黄色靱帯骨化症	5	-	-	-	-	-
	2	-	-	-	-	-
56 間脳下垂体機能障害	66	-	-	-	-	-
	0	-	-	-	-	-

表５－（２）指定難病医療費助成制度受給者状況

（単位：件）

年 度・市 別 疾 患 名 下段：重症(内数)	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度	習 志 野 市	八 千 代 市	鎌 ヶ 谷 市
総 数	2,763	3,122	1,132	1,259	731	
1 球脊髄性筋萎縮症	2	3	2	0	1	
	2	2	1	0	1	
2 筋萎縮性側索硬化症	22	24	12	9	3	
	12	11	6	2	3	
3 原発性側索硬化症	6	6	2	3	1	
	6	6	2	3	1	
5 進行性核上性麻痺	48	53	18	22	13	
	16	16	5	8	3	
6 パーキンソン病	317	358	114	149	95	
	53	57	20	22	15	
7 大脳皮質基底核変性症	10	12	2	7	3	
	4	3	1	2	0	
8 ハンチントン病	3	5	2	2	1	
	3	3	1	2	0	
11 重症筋無力症	71	72	32	27	13	
	3	3	0	3	0	
13 多発性硬化症／視神経脊髄	61	72	34	25	13	
	13	13	5	5	3	
14 慢性炎症性脱髄性多発神経	11	10	5	3	2	
	3	3	2	1	0	
17 多系統萎縮症	31	32	9	14	9	
	14	13	5	4	4	
18 脊髄小脳変性症(多系統萎縮	77	77	23	31	23	
	42	36	13	15	8	
19 ライソゾーム病	3	3	1	2	0	
	0	0	0	0	0	
20 副腎白質ジストロフィー	3	3	1	2	0	
	1	1	1	0	0	
21 ミトコンドリア病	2	2	0	1	1	
	0	0	0	0	0	
22 もやもや病	54	56	18	22	16	
	7	8	4	3	1	
23 プリオン病	0	1	0	1	0	
	0	0	0	0	0	
28 全身性アミロイドーシス	7	8	4	2	2	
	0	0	0	0	0	
34 神経線維腫症	6	11	3	6	2	
	2	2	0	1	1	
35 天疱瘡	20	23	8	8	7	
	0	0	0	0	0	
36 表皮水疱症	3	3	3	0	0	
	0	0	0	0	0	

37 膿疱性乾癬（汎発型）	5	4	1	0	3
	0	0	0	0	0
38 スティーヴンス・ジョンソン	0	1	1	0	0
	0	0	0	0	0
40 高安動脈炎	22	24	8	8	8
	5	5	1	2	2
41 巨細胞性動脈炎	0	2	1	1	0
	0	0	0	0	0
42 結節性多発動脈炎	12	13	5	7	1
	1	1	0	1	0
43 顕微鏡的多発血管炎	24	30	11	12	7
	3	3	1	2	0
44 多発血管炎性肉芽腫症	8	14	9	4	1
	2	2	1	1	0
45 好酸球性多発血管炎性肉芽	2	3	2	1	0
	0	0	0	0	0
46 悪性関節リウマチ	16	14	6	3	5
	3	2	0	1	1
47 バージェー病	17	17	9	6	2
	1	2	1	1	0
49 全身性エリテマトーデス	228	236	86	95	55
	10	11	7	2	2
50 皮膚筋炎／多発性筋炎	54	61	15	26	20
	1	1	0	0	1
51 全身性強皮症	134	137	33	67	37
	2	3	0	3	0
52 混合性結合組織病	39	40	15	18	7
	2	2	0	1	1
53 シェーグレン症候群	3	8	2	4	2
	0	0	0	0	0
54 成人スチル病	1	4	1	1	2
	0	0	0	0	0
55 再発性多発軟骨炎	2	3	1	2	0
	0	0	0	0	0
56 ベーチェット病	61	61	20	23	18
	5	5	1	3	1
57 特発性拡張型心筋症	48	55	16	26	13
	11	12	2	7	3
58 肥大型心筋症	10	14	7	5	2
	2	3	2	1	0
60 再生不良性貧血	28	30	12	11	7
	0	0	0	0	0
61 自己免疫性溶血性貧血	0	1	1	0	0
	0	0	0	0	0
62 発作性夜間ヘモグロビン尿	1	2	1	0	1
	0	1	0	0	1
63 特発性血小板減少性紫斑病	76	80	25	44	11
	1	2	1	1	0
64 血栓性血小板減少性紫斑病	0	1	0	1	0

	0	0	0	0	0
65 原発性免疫不全症候群	4	6	4	1	1
	0	2	1	1	0
66 IgA 腎症	4	15	3	9	3
	0	0	0	0	0
67 多発性嚢胞腎	3	9	5	0	4
	0	0	0	0	0
68 黄色靱帯骨化症	6	8	4	4	0
	1	1	1	0	0
69 後縦靱帯骨化症	96	105	33	37	35
	11	14	5	5	4
70 広範脊柱管狭窄症	12	13	5	2	6
	5	5	2	0	3
71 特発性大腿骨頭壊死症	41	52	25	16	11
	3	4	2	1	1
72 下垂体性 ADH 分泌異常症	7	11	5	6	0
	0	0	0	0	0
73 下垂体性 TSH 分泌亢進症	1	1	0	1	0
	0	0	0	0	0
74 下垂体性 PRL 分泌亢進症	4	11	2	5	4
	0	0	0	0	0
75 クッシング病	5	5	3	2	0
	0	0	0	0	0
76 下垂体性ゴナドトロピン分	1	0	0	0	0
	0	0	0	0	0
77 下垂体性成長ホルモン分泌	14	16	7	6	3
	0	0	0	0	0
78 下垂体前葉機能低下症	44	53	24	17	12
	0	0	0	0	0
81 先天性副腎皮質酵素欠損症	0	2	1	1	0
	0	0	0	0	0
83 アジソン病	1	1	0	0	1
	0	0	0	0	0
84 サルコイドーシス	66	73	22	37	14
	8	6	1	2	3
85 特発性間質性肺炎	24	26	8	11	7
	1	1	1	0	0
86 肺動脈性肺高血圧症	4	6	3	2	1
	0	0	0	0	0
88 慢性血栓塞栓性肺高血圧症	12	13	3	8	2
	1	1	0	0	1
89 リンパ脈管筋腫症	5	7	4	2	1
	0	0	0	0	0
90 網膜色素変性症	98	104	39	33	32
	60	60	22	18	20
93 原発性胆汁性肝硬変	91	105	31	55	19
	1	1	1	0	0
94 原発性硬化性胆管炎	0	3	2	0	1
	0	0	0	0	0

95	自己免疫性肝炎	3	11	4	5	2
		0	0	0	0	0
96	クローン病	144	154	64	58	32
		1	1	0	1	0
97	潰瘍性大腸炎	525	585	237	225	123
		0	1	1	0	0
98	好酸球性消化管疾患	0	2	0	2	0
		0	0	0	0	0
111	先天性ミオパチー	0	1	1	0	0
		0	0	0	0	0
113	筋ジストロフィー	0	2	1	1	0
		0	0	0	0	0
117	脊髄空洞症	0	1	0	1	0
		0	0	0	0	0
162	類天疱瘡（後天性表皮水疱症）	0	2	1	0	1
		0	0	0	0	0
171	ウィルソン病	0	1	0	0	1
		0	0	0	0	0
193	プラダー・ウィリ症候群	0	1	0	1	0
		0	0	0	0	0
209	完全大血管転位症	0	1	0	1	0
		0	0	0	0	0
212	三尖弁閉鎖症	0	1	1	0	0
		0	0	0	0	0
215	ファロー四徴症	0	1	0	1	0
		0	0	0	0	0
220	急速進行性糸球体腎炎	0	1	1	0	0
		0	0	0	0	0
221	抗糸球体基底膜腎炎	0	1	1	0	0
		0	0	0	0	0
222	一次性ネフローゼ症候群	0	6	2	4	0
		0	0	0	0	0
223	一次性膜性増殖性糸球体腎	0	1	1	0	0
		0	0	0	0	0
224	紫斑病性腎炎	0	1	0	1	0
		0	0	0	0	0
227	オスラー病	0	2	1	0	1
		0	0	0	0	0
251	尿素サイクル異常症	0	1	0	1	0
		0	0	0	0	0
271	強直性脊椎炎	0	4	1	2	1
		0	0	0	0	0
283	後天性赤芽球癆	0	1	0	0	1
		0	0	0	0	0
300	I g G 4 関連疾患	0	3	0	0	3
		0	0	0	0	0
306	好酸球性副鼻腔炎	0	3	1	0	2
		0	0	0	0	0

(3) 先天性血液凝固因子障害治療研究費受給者状況

表5-(3) 先天性血液凝固因子障害治療研究費受給者状況 (単位:人)

年度	総数	習志野市	八千代市	鎌ヶ谷市
平成25年	9	6	3	0
平成26年	9	6	3	0
平成27年	9	6	3	0

(4) 難病相談事業

ア 在宅療養支援計画策定・評価事業

表5-(4)-ア 在宅療養支援計画策定・評価会議実施状況 (単位:人)

区分 年度	支援計画 策定 実施件数	支援計画 評価 実施件数	構 成 員					
			専門医	家庭医	看護師	理学療法士	保健師	その他
平成25年度	10	10	4	2	21	6	0	44
平成26年度	3	3	0	1	3	0	0	15
平成27年度	3	3	0	1	2	0	0	16

イ 訪問相談事業

(ア) 訪問相談員派遣事業

表5-(4)-イ-(ア) 訪問相談員派遣事業実施状況

区分 年度	人 数	回 数	実人員	延人員
平成25年度	2	46	6	46
平成26年度	1	10	2	10
平成27年度	1	14	5	14

(イ) 訪問相談員育成事業

表 5 - (4) - イ - (イ) 訪問相談員育成事業実施状況

区分 年度	月 日	主 な 内 容	職 種	人 数
平成 27 年度	11 月 17 日	難病患者への災害時の支援	保健師	1

ウ 医療相談事業

表 5 - (4) - ウ 医療相談事業実施状況

実施日	参加人数	実施会場	対象疾患	実施内容	従事者人数
平成 27 年 10 月 20 日	20	習志野健康福祉センター	神経難病	1 講演 「神経難病患者の療養生活について」 JCHO 東京新宿メディカルセンター 神経内科 山田滋雄 氏 2 医療相談、交流会	8
平成 27 年 11 月 6 日	13	習志野健康福祉センター	炎症性腸疾患	1 講演 「炎症性腸疾患の治療の基本と療養上の注意」 講師 東邦大学医療センター 佐倉病院 消化器内科 教授 鈴木康夫 氏 2 講演 「炎症性腸疾患の食事・栄養療法の基本」 講師 東邦大学医療センター 佐倉病院 栄養部 管理栄養士 古賀みどり氏	4

エ 訪問指導事業

表 5 - (4) - エ 訪問指導事業実施状況(疾患別)(訪問相談員派遣)
(単位：件)

疾 患 名	平成25年度	平成26年度	平成27年度
総 数	46	10	25
筋萎縮性側索硬化症	21	10	4
進行性核上性麻痺	20	0	5
パーキンソン病	5	0	12
多系統萎縮症	0	0	1
脊髄小脳変性症	0	0	3

オ 窓口相談事業

表 5 - (4) - オ 相談内容 (単位：人)

内 容	平成 2 5 年 度	平成 2 6 年 度	平成 2 7 年 度
相 談 者 数 (延)	1,791	971	864
申 請 等	1,791	971	864
医 療	457	11	3
家 庭 看 護	121	6	350
福 祉 制 度	466	836	341
就 労	0	0	0
就 学	0	0	0
食 事 ・ 栄 養	81	2	0
歯 科	0	0	0
そ の 他	104	21	56

カ 難病患者を対象とする医療・介護従事者研修

表 5 - (4) - カ 難病患者を対象とする医療・介護従事者研修実施状況

実施日	テーマ	対象者 (職種)	参加 者数	内容
平成 27 年 11 月 17 日	災害対策	介護支援 専門員	37	1 難病事業医療費助成制度説明 2 講演 「難病患者への災害支援」 講師 八千代市八千代台包括支 援センター長 渡辺哲也氏

6 原爆被爆者対策事業

被爆者の健康増進を図るため、被爆者健康診断及び健康相談を年 2 回実施し、健康の保持増進を図った。

(1) 被爆者手帳交付状況

表 6 - (1) 被爆者手帳交付状況 (単位 : 件)

区分 年度 市町村	前年度末 手帳交付 数	新規	転 入	転 出	死 亡	当該年度 末 手帳交付 数
平成 25 年	230 (0)	-	8	4		219 (0)
平成 26 年	219 (0)	-	3	2		208 (0)
平成 27 年	208 (0)	-	5	1	8	204 (0)
習志野市	73 (0)	-	1	-	4	70 (0)
八千代市	80 (0)	-	3	1	3	79 (0)
鎌ヶ谷市	55 (0)	-	1	-	1	55 (0)

(注) () は被爆者健康診断受診証交付数で総数に含まず。

(2) 被爆者健康診断実施状況

表 6 - (2) 被爆者健康診断実施状況 (単位：人)

年度	施設		対象者数	受診者数	受診率(%)	要精検者
平成 25 年度	保健所	前期	230	19	8.3	
		後期	234	14	6.0	
	委託医療機関		-	95	-	28
平成 26 年度	保健所	前期	220	19	8.6	
		後期	209	17	8.1	
	委託医療機関		-	42	-	24
平成 27 年度	保健所	前期	209	21	10.0	2
		後期	203	16	7.9	4
	委託医療機関		-	54	-	24

(3) 特別措置法に基づく各種手当の支給状況

表 6 - (3) 特別措置法に基づく各種手当の支給状況 (単位：件)

区分 \ 年度	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度
総 数	206	184	178
医療特別手当	8	8	9
特別手当	1	2	2
原子爆弾小頭症手	-	-	-
健康管理手当	171	161	156
保健手当	5	4	3
介護手当	6	-	-
埋葬料	15	9	8
健康手当	180	171	167

(注) 健康手当は、県単独事業であり総数に含まず。